

利用者氏名	福祉知朗さん		事業者名	グループホーム	
開催日時	/ /		サービス管理責任者氏名	喜多石 照世	
開催場所	グループホーム スタッフルーム				
会議出席者	所属	氏名		所属	氏名
	ご本人	福祉 知朗		世話人	山野 めぐみ
	管理者	〇〇 〇〇		世話人	〇〇
	生活支援員	〇〇 〇〇		サビ管	喜多石 照世
現状及び検討事項			検討内容・対応		
<p>○知朗さん</p> <p>就労に向けては「父親に世話になったので迷惑を掛けたくない」という気持ちは変わらずあり、「3年後ぐらいにはまた働きたい」という意欲はあるが朝起きられずグループホームの生活にまだ慣れていないという心配も話してくれる。自分ではどうしたいのかを決められないが就 労訓練は継続したいと思っている。毎日の生活に追われて心身ともに余裕が無く「自分だけ だ」と思う。「昆虫の博物館」に行ってみたい気持ちはあるが、仕事に疲れてなかなか行けない。自室の掃除や洗濯をするのが億劫になりできないことが多い。遅刻も増えている。</p> <p>○喜多石（サビ管）</p> <p>就労継続支援B型事業所の支援員からの情報を報告。</p> <p>B型では、製造や木工の作業を中心にプログラムを組んでいる。なるべく一人一人で集中できる作業環境を用意して取り組んでいる。手先は器用であり完成させる作業の製品の質は高い。しかし、持続力が無く、午後からは疲れてしまう様子が伺えた。基本作業時間を3時間に延ばす事を試行したが現時点では困難だと判断していた。毎週水曜日に面談の日を設けていて「仕事は大丈夫です」と答えるが、自分の本心から言っているのかは定かでは無く、どのように支援して行けばよいのか迷っているとのこと。</p> <p>○山野（世話人）</p> <p>朝7時に目覚ましをセットしているが、1週間のうち起きられたのは2日あるかどうか。洗濯と掃除、調理はこまめに取り組んでいる。洗濯も調理も毎日頑張ろうとしているので、洗濯と掃除、調理を行う曜日や時間を相談しながら決めてはどうか。本当は、夕食後に楽しみにしている昆虫図鑑を見たいようだが、疲れている様子で早く寝てしまう。しかし、朝も起きられない。昆虫博物館に行く事も土日のお休みも疲れていて外出する気は起きない様子。</p>			<p>○検討事項</p> <p>①朝起きることができず、遅刻してしまう事が増えてきているので、安心して過ごすことが出来るリズムを考えていく。</p> <p>②掃除や洗濯、調理は少し負担になってきている部分もあるので、1週間の中でバランスよく計画をたてることを検討する。</p> <p>③楽しい事をする時間がなかなか取れないので、他の住む時間を考えていく。</p> <p>○対応</p> <p>①自宅から出てグループホーム入居と就労訓練が併行して始まりご本人にとって初体験する事や 新しいことが重なり、心身共にストレスがかかっているように見える。知朗さんの気持ちの迷いや 自分一人では整理できない思い等があるため早めのサービス担当者会議（モニタリング）を開催して もらいサービスの調整を行う。サビ管から相談支援専門員に連絡、依頼する。今後は、就労支援事業所と密に連携をとって支援を組み立てていく。</p> <p>②「就労したい」という気持ちは確認できるが、朝起きられない事や、夜は疲れている様子も伺える。掃除、洗濯や調理も頑張っようという意欲は十分感じるのでその気持ちは大切にしていきたい。知朗さんがゆとりを持ってできる様にするために、丁寧に説明しあまり詰め込みすぎない様 ガス抜きも伝えていく。サビ管から1週間の過ごし方について話し合い、少しゆとりを持った生活 ができる様に本人と一緒に考えていく。グループホームの日課や週案については、この会議で案を 作成し、改めて知朗さんの気持ちを確認し同意をもらい実施する。具体的には、ご本人が楽しみに している時間を確保できるようにゆとりを持てるような支援をする。</p> <p>③楽しい事をする時間を週間予定に取り入れる。</p>		
今後の課題及び確認等	今後就労に向かうためにも、日常生活を見直し、生活リズムを整えることを優先した支援が必要。そのため、就労支援事業所との連携を密にして支援の見直しをする。ご本人が朝起きられず疲れている様子も伺われ、楽しみをする時間もないので、ゆとりをもった週間予定や毎日の時間設定を行い、ご本人の強みを伸ばし、弱みを支援するという方向でプログラムや支援を組み立てている。				